

フジタガンカニュース

Vol.125 2021.2.24

色覚検査と色覚異常について㊦(最終回)

連日マスコミの報道がありますので、皆さん既にご承知の事と思いますが…ついに日本国内でも新型コロナウイルスに対してのワクチン接種が始まりました。新型コロナウイルスワクチンに関する情報は厚生労働省のHPに記載があります。状況に応じて情報も更新されているようですので、参考にして頂けたらと思います。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

googleなどの検索エンジンで「新型コロナウイルスワクチン 厚生労働省」と検索して頂くと該当のページに辿り着けるはずですが、

私は眼科医なのでその分野の専門家ではありませんが、周囲の方からよく「で、結局先生はワクチンを打つんですか？打たないんですか？」という質問受けます。

答えは「藤田は打ちます。」です。

自分は眼科医として日々不特定多数の方と接する業務についていますので、感染を拡大させない為にはワクチン接種を受けるべきと思うからです。ワクチンの詳細については説明が専門的になり過ぎるため割愛させていただきますが、現在国内で認可されているファイザー社のワクチンはmRNA ワクチンという、既存のインフルエンザウイルスなどの一般的なワクチンとは異なるタイプのワクチンとなります。つまり副反応(副作用の事です)については未知の要素が大きいので一般の皆さんはそこに不安を感じているのではないか？と思います。ちなみに、効果については抗体の確認や諸外国での新規患者数の減少等、一定の効果があると思っております。確かに副反応を生じる可能性がある事は事実ですが、これについては仕方がないと思います。しかし既に海外ではある程度の数の接種が行われています、国内でも先行する医療従事者の接種である程度副反応出現の確認ができると思います。詳細は厚労省のHPに記載がありますが、今回の新型コロナウイルスワクチン接種は無料受けられるものであり、厚労省としては集団的な免疫を獲得して欲しいという要望がある為接種を推奨しています。だからと言って決して義務となっている訳ではありません。医療業界では当たり前の考え方なのですが副反



応の可能性がある以上、接種を希望するかどうかが本人の希望選択になるというのは当然の事なのです。あくまでも「本人が納得」してもらって受けるものです。そして、その選択を決定するに当たった参考情報として…「藤田はリスクを踏まえた上でワクチンを接種します」という事なのです。何かの参考にして頂ければと思います。今月のフジタガンカニュースは前月号から引き続き、色覚異常に関する情報です。

左図は前月号で紹介した「色弱の子どもがわかる本」の表紙なのですが、これは医師でありご自身が色覚異常者でもある岡部先生が実生活での体験を交えて作成された本となっています。「説明を聞いて理屈は分

かったけれど、実際の色覚異常ってどんな状況なんですか？」という素朴な疑問に…具体例をマンガで…見事に答えてくれる本です。興味のある方は是非手に取って頂けたらと思います、アマゾン、楽天その他のネットショップでの購入が可能です。

以上で色覚異常に関する解説は終了となります。次月号からのフジタガンカニュースは新たなテーマでの文章を予定していますが…過去のバックナンバーを振り返る総集編の様な内容を考えています。お楽しみに！

今月のお知らせ

**スギ花粉症の季節ですね！
治療と検査をご希望の方は
お申し出ください！**



<http://www.fujita-ganka.com>

FUJITA-EYE-CLINIC

藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)

P-Vision

☎042 (645) 0575

☎042 (642) 2911